

令和6年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー
活動報告（10月～12月）

少子高齢化問題は、様々な分野へ大きな影響を及ぼしています。それは、スポーツ・文化面においても同様です。スポーツ少年団員数や団数の減少、中学校部活種目においても人数不足により成立しない種目も出始めています。また、中体連大会の廃止種目も議論されています。地域では、コミュニティの数・質の低下による高齢者の居場所づくり等も課題の1つに挙げられています。高齢者が参加しやすい工夫が必要な時代であり、スポーツの活用は現代社会の中においても重要な分野なのです。多様化とともに地域課題が多くなることも想定されます。今後、地域のスポーツ環境をどのように整備していくかが重要です。行政を含め、関係団体が連携を取りながら、生涯スポーツの推進を図れるように考えていきたいものです。

10月

福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
第1回常任委員会

県内の総合型クラブで組織される「連絡協議会」の常任委員会に参加し、県内状況の共有や今後について助言等を行いました。役員は県内を5つにブロック分けし、各ブロックの代表として選ばれていますが、どの役員も自クラブの運営に手一杯でクラブ間の連携が薄いのではないかと所見を述べ、今後の連携を促しました。また、事務局主導の団体にならず、クラブ間の交流を深めるイベントやクラブ発展に繋がる事業など意見を出していくよう助言しました。

確かに、人口減少・スポーツ離れなど社会全体の課題が多い中、地域スポーツの発展というのは難しい部分も多いが、だからこそクラブ間による連携や今後の安定した運営体制を構築していくために、積極的な姿勢を心掛けてもらいたいと改めて総合型クラブのあり方を伝えました。

投げかけるだけでなく、クラブアドバイザーとして各クラブに適した助言・指導も継続していきます。

11月

北信越ブロッククラブネットワークアクション2024

新潟県長岡市のアオーレ長岡にて、「北信越ブロッククラブネットワークアクション2024」が開催され、福井県の実行委員として参加しました。

今年度のテーマは「人が育てば、クラブが育つ」とし、北信越ブロックの総合型クラブ関係者や行政関係者などが参加しました。今回は事例発表が多く、学びの時間がしっかりとあったほか、意見交換などを通して県内外での共通の課題や地域毎に異なる課題などについて認識を深めました。

アドバイザー間の情報共有もすることができ、実行委員でありながら自分自身も今後の活動に活かしていきたいと思える学びの機会にもなりました。

本事業は来年度に福井県での開催となるので、今回以上に充実した内容となるよう、県内関係者としてしっかり協議を進め、地域スポーツの発展に繋げていきたいと思えます。

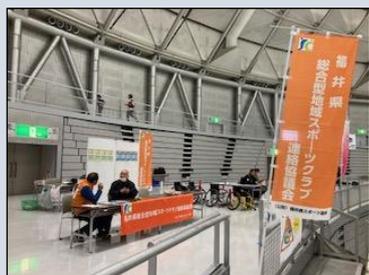


12月

①：スポカル FUKUI2024

②：第2回福井県地域スポーツミーティング

①：サンドーム福井で開催された「スポカル FUKUI2024」に県連絡協議会としてブース設営し、簡単なスポーツ体験と総合型クラブの認知度向上の活動をしました。アドバイザーとして協力し、ブースに来られた方にチラシ配布と総合型クラブの活動や主な目的について説明し、県内クラブの紹介をしました。



②：「総合型クラブとスポーツ少年団との連携について」をテーマに「第2回福井県地域スポーツミーティング」が開催されました。総合型クラブと少年団がお互いの認知度アップや悩み、課題等が示され有意義な時間になったようです。クラブ関係者だけでなく、少年団関係者にも声掛けや今後の連携を促せたのはこれまでにない取り組みだったと思います。今後もこのような機会を活用し、少年団関係者にも積極的に働きかけていきます。

